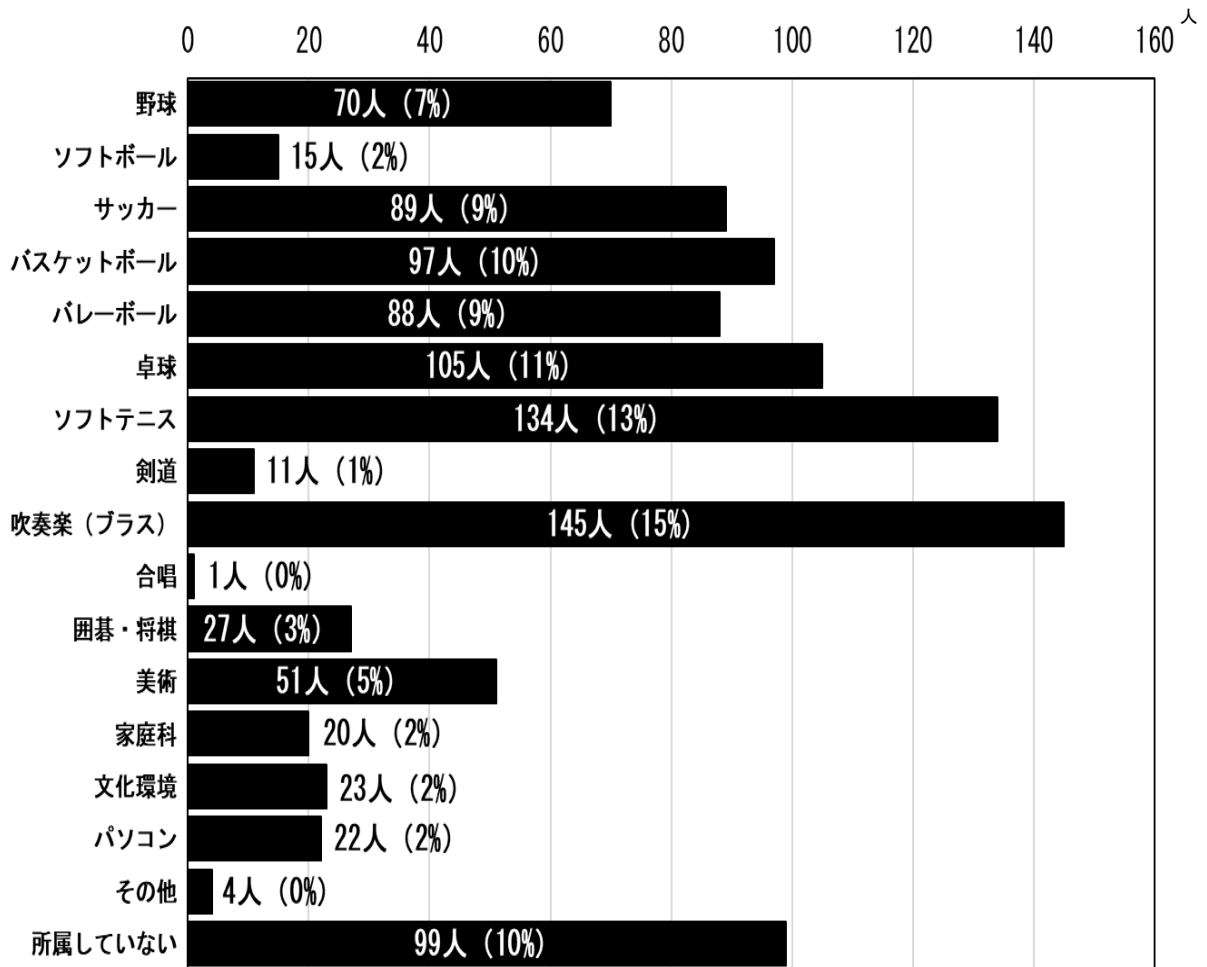


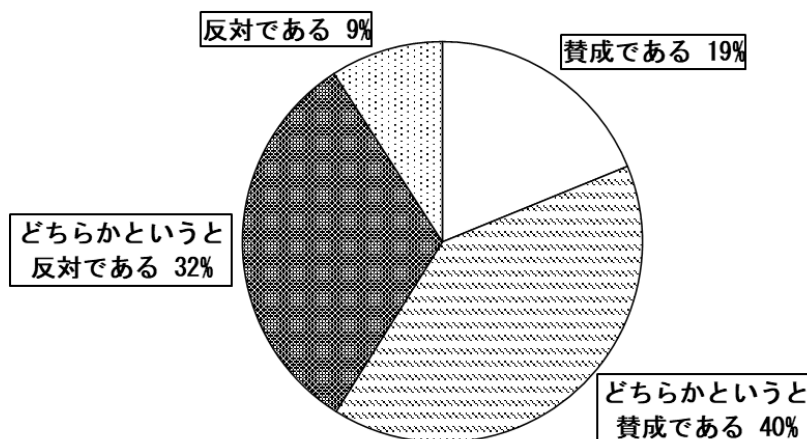
令和7年度 北名古屋市中学校部活動に関する意識アンケート結果（保護者）

（R.2実施 回答者数 998名、回答率 51.6%）

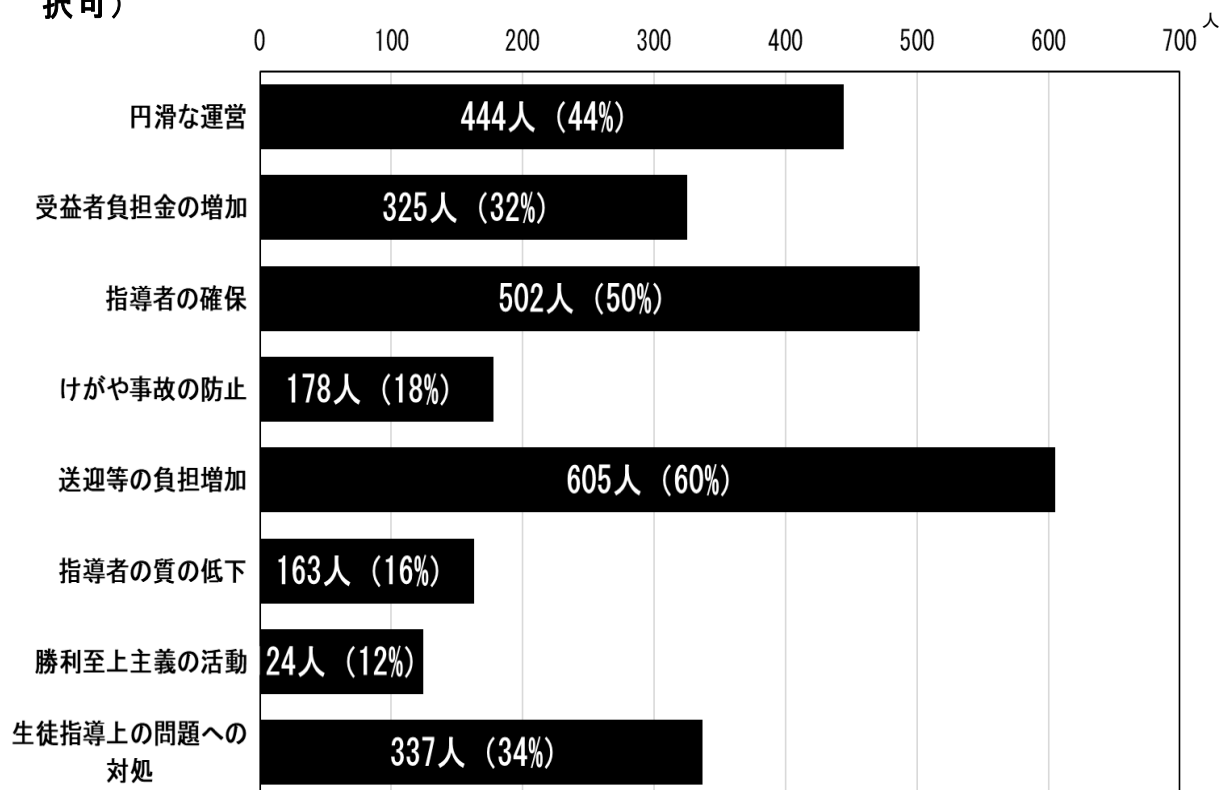
1 所属している部活動を選択してください。（中学3年生は令和6年7月に所属していた部活動）



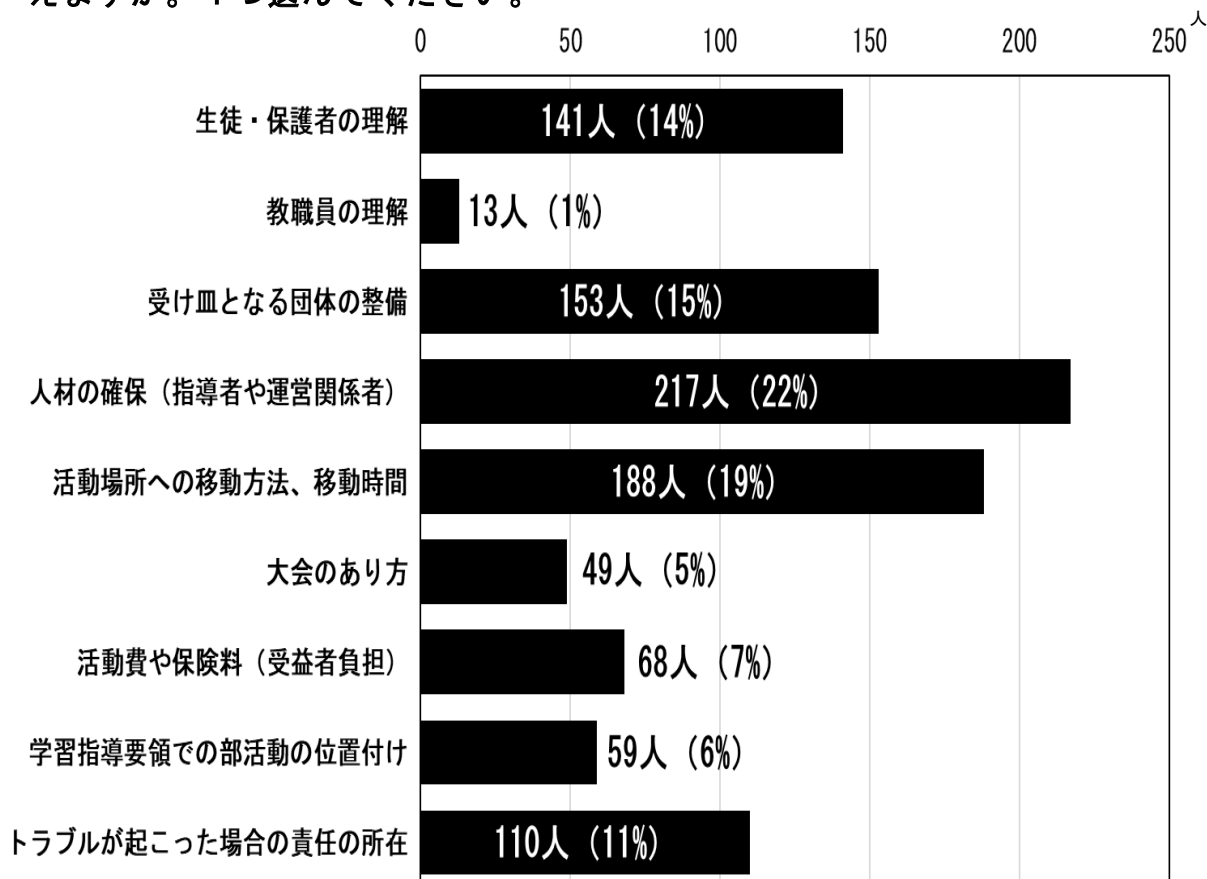
2 中学校部活動の地域展開について、可能な部活動から段階的に移行を進めることにどう思いますか。



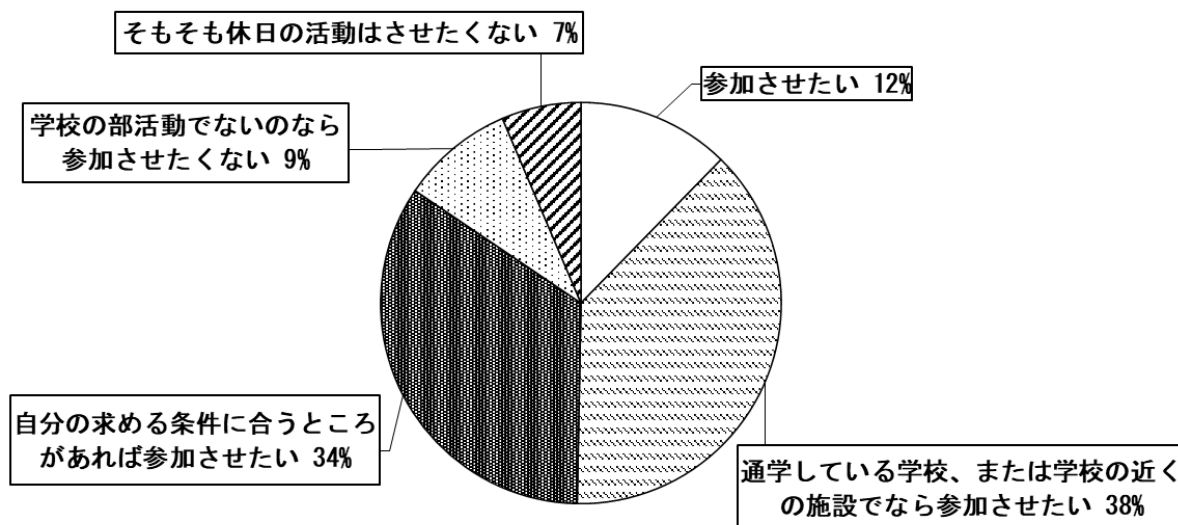
3 中学校部活動が地域展開する場合、不安に感じることは何ですか。(複数選択可)



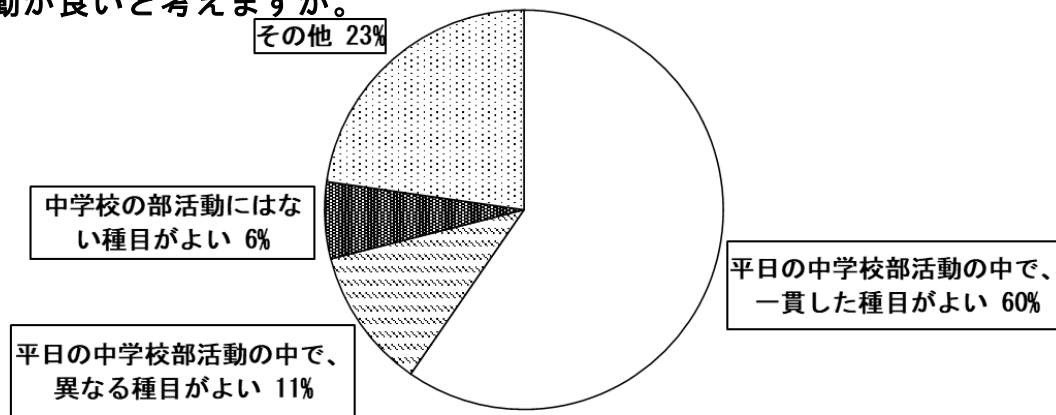
4 中学校部活動の地域展開に向けて、解決すべき最も大きな課題は何だと考えますか。1つ選んでください。



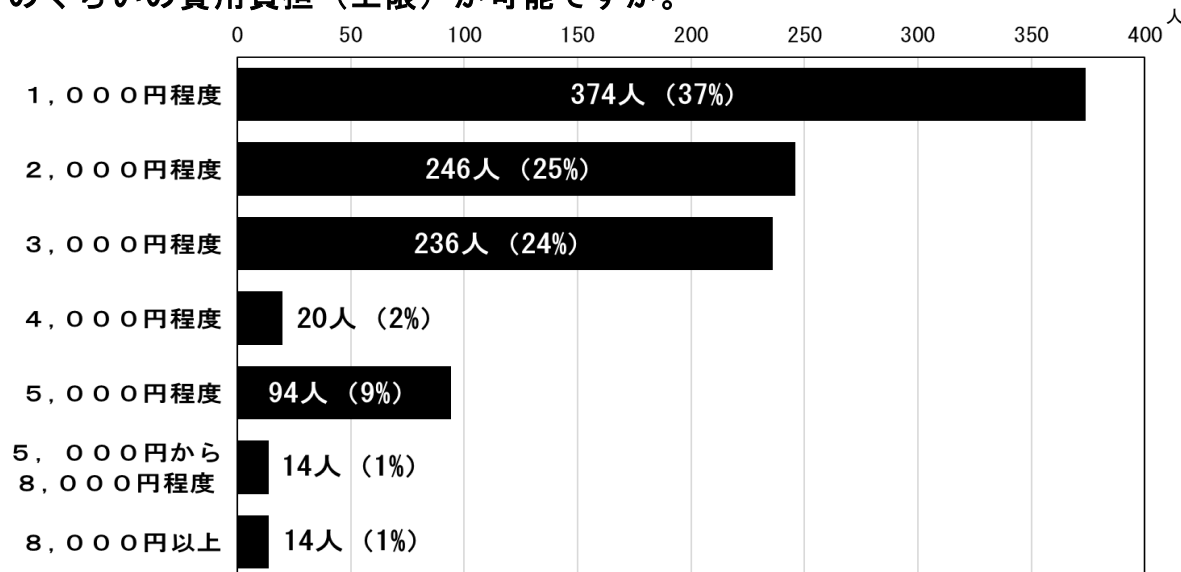
5 休日の部活動が学校の活動ではなく、地域で行われる活動となった場合、お子さんを参加させたいですか。1つ選んでください。



6 お子さんを休日の地域で行われる活動に参加させるとしたら、どのような活動が良いと考えますか。



7 お子さまを休日の地域で行われる活動に参加させるとしたら、月あたりのくらの費用負担（上限）が可能ですか。



8 中学校部活動の地域展開について、ご意見があれば書いてください。

- 中学校部活動地域展開実証事業に賛成である (25)
- 教員の負担軽減に繋がることはよい (13)
- 部活動はなくてもよい。活動したい子だけ地域クラブ活動に参加すればよい (10)
- 保護者の金銭的な負担が増えても仕方ない (4)
- 中学校での部活動を続けて欲しい (53)
- 教員の多忙化解消は理解できるが、指導者は学校の教員を活用し対価を支払うべきである (35)
- 中学校部活動地域展開に反対である。魅力を感じない (16)
- 地域展開での質の高い指導者、安全な環境を確保する (14)
- 会費を払って実証事業に参加するのは、習い事同じで理解できない (11)
- 保護者の金銭的な負担が気になる。市からの補助金を増やすとよい (11)
- 親の送迎が不必要ならよい (8)
- 家庭環境を加味した事業にすべきである (8)
- 中学校部活動地域展開の趣旨や今後の方針の説明が必要である (8)
- 色々な選択技があるとよい (7)
- 子どもが自分で通える範囲での活動が望ましい (6)
- 地域展開によって生じる不公平感をなくす (5)
- 子どもの声を聴く機会を持ってほしい (5)
- 子どものやる気の出る事業にしてほしい (5)
- 平日の部活動も地域の指導者が行う方が意義のある (2)